



## 2018年度 coLLaboプログラム アンケート調査結果（抜粋）

### I 調査概要

#### 1. アンケートのテーマ

coLLaboプログラム参加者に関する基礎調査

#### 2. アンケート目的

coLLaboプログラムに参加したセクシュアルマイノリティ女性について、属性や考え方、要望などを聞き、よりニーズに応えるプログラム作りなどに活かす。

#### 3. アンケート期間

2018/6/9 ～ 2019/2/16

#### 4. アンケート方法

coLLaboプログラムの参加者にアンケート用紙を配り、回答を記入してもらう。  
(回答は一人当たり年1回に限定)

#### 5. 回答者数

45人

### II 調査項目

- Q1 カミングアウトはしていますか？
- Q2 今後のカミングアウトの機会について最も近い考えは？
- Q3 女性の恋人・パートナーはいますか？交際期間は？
- Q4 同性パートナーシップ制度を利用したいですか？
- Q5 Q4で「わからない・利用したくない」と答えた方、その理由は？
- Q6 子供をもちたいと思いますか？
- Q7 今日参加したプログラムは、あなたの期待を100点とすると何点ですか？
- Q8 セクシュアルマイノリティ女性に聞いてみたいこと
- Q9 セクシュアルマイノリティ女性について、いま関心のあるテーマは？

### III アンケート回答者の属性

※SA=単一回答、MA=複数回答、FA=自由回答

項目	人数	構成比 (%)	有効回答率 (%)
全体	45	-	-
年齢 (SA)			96
20代	10	22	
30代	15	33	
40代	15	33	
50代	3	7	
60代	0	0	
無記入	2	4	
*平均年齢= 37歳			
居住地 (SA)			98
東京	23	51	
神奈川	9	20	
埼玉	5	11	
千葉	4	9	
茨城	2	4	
その他	1	2	
無記入	1	2	
居住地・その他 (FA)	栃木県		
世田谷区に在住・在勤・在学中 (SA)	5	11	-
セクシュアリティ (MA) ※			93
レズビアン	23	51	
バイセクシュアル	6	13	
FtX	9	20	
FtM	2	4	
MtF	0	0	
わからない	4	9	
決めていない	5	11	
その他	1	2	
無記入	3	7	
セクシュアリティ・その他 (FA)	GID		

※セクシュアリティは、複数回答する人がいるため合計が100%にならない。

#### (結果の概要)

- 年齢は30代を中心とし、20～50代と幅広い
- 居住地は東京都と近県が大半を占める。世田谷区在住・在勤・在学者は11%である
- セクシュアリティは、レズビアンが過半数を占めるが、そのほかに多様な女性が参加している

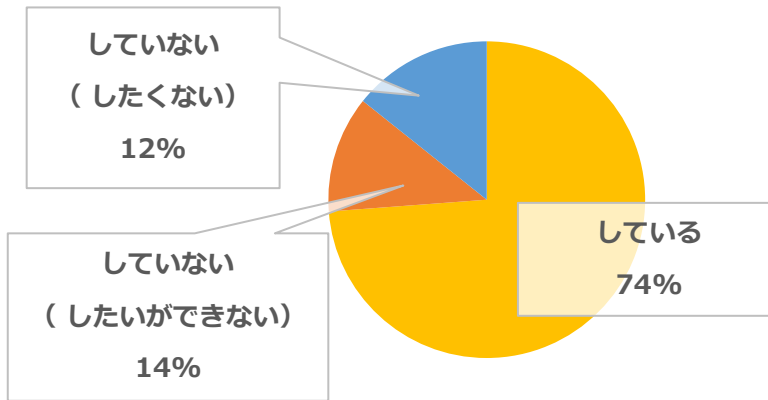
## IV 調査結果

※SA=単一回答、MA=複数回答、FA=自由回答

### Q1 カミングアウトはしていますか？

(SA)

(n=42)



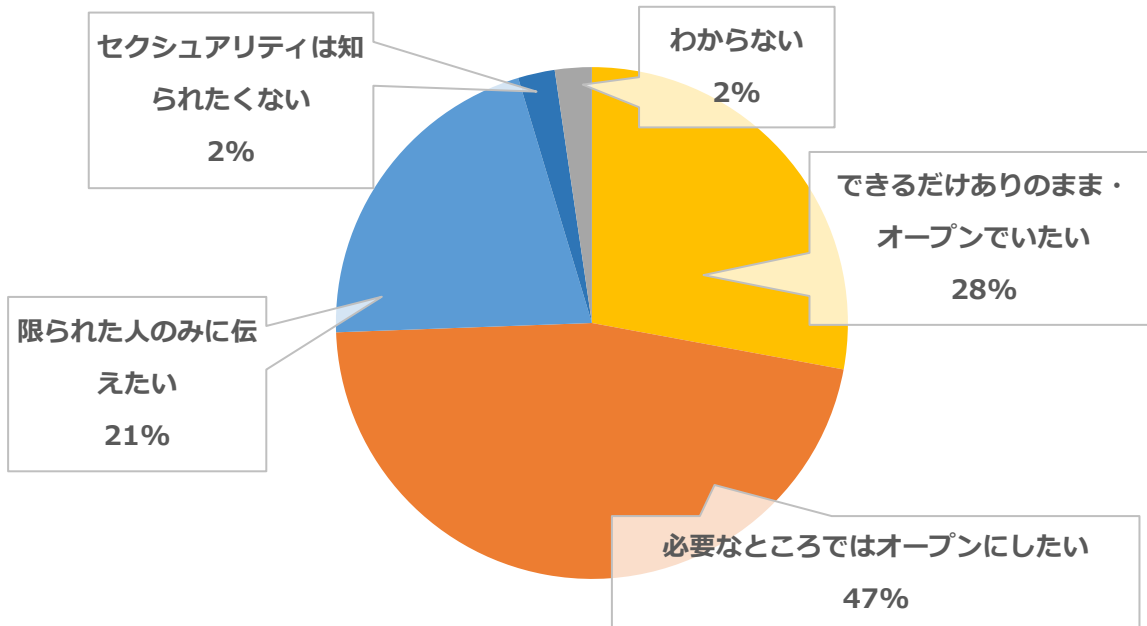
(結果の概要)

カミングアウトしている人の割合は74%と高い。したいができない人を含めると88%に上り、大多数の人はカミングアウトすることを望んでいる。

### Q2 今後のカミングアウトの機会について最も近い考えは？

(SA)

(n=43)



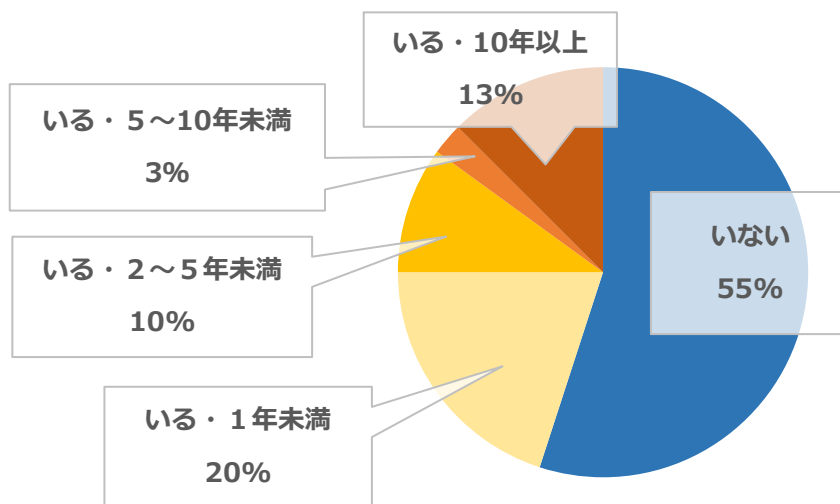
(結果の概要)

「オープンにしたい」と考える人は75%と多い。

Q3 女性の恋人・パートナーはいますか？交際期間は？

(SA)

(n=40)



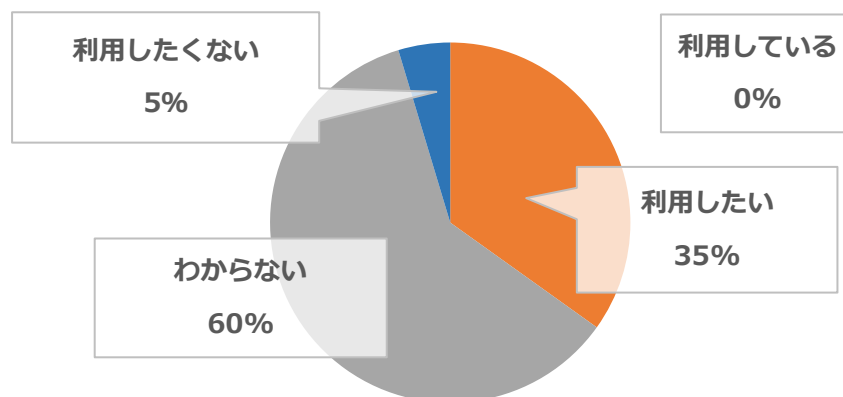
(結果の概要)

恋人・パートナーのいない人が過半数を占める。その一方で、5年以上と長期の交際関係を築いている人が16%いる。

Q4 同性パートナーシップ制度を導入する自治体が増えています。このような制度を利用したいですか？またはすでに利用していますか？

(SA)

(n=43)



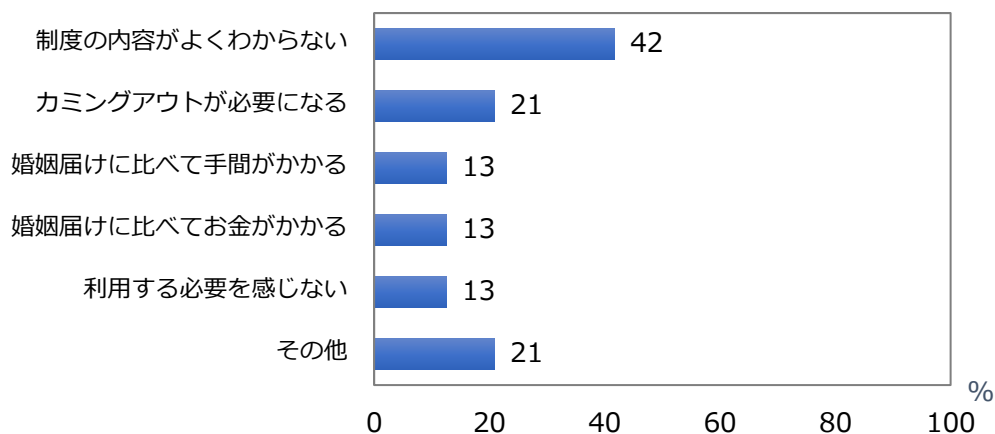
(結果の概要)

利用したい人は35%に留まり、「わからない」が過半数を占める。

### Q5 Q4で「わからない・利用したくない」と答えた方、その理由は？

(MA)

(n=24)



#### その他

- ・結婚と同等の法制度が欲しい
- ・自治体により内容に多少ばらつきがあるため
- ・自分の気持ちが定まらない
- ・外国人であるため
- ・制度の内容による。プライバシーもパートナー関係もきちんと守られる制度ならぜひ利用したい

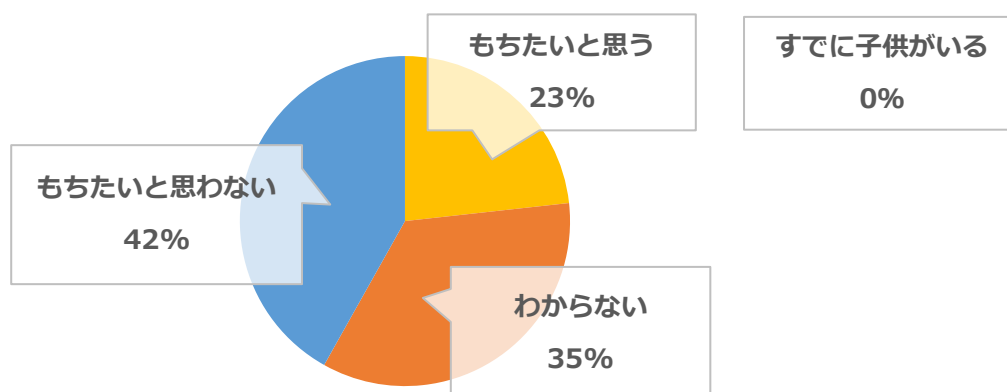
#### (結果の概要)

「制度の内容及よくわからない」が42%で最も多い。次に多いのが、「カミングアウトが必要」(21%)、婚姻届けに比べて「手間がかかる」・「お金がかかる」(各13%)など、制度上の課題である。「利用する必要を感じない」を選んだ人は13%と少ない。

### Q6 子供を持ちたいと思いますか？(里親・養子縁組含む)

(SA)

(n=43)

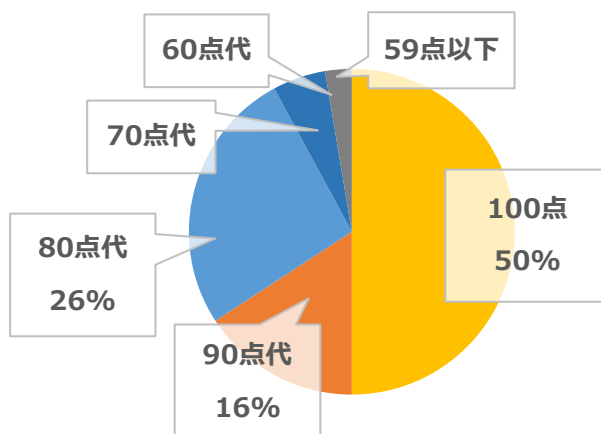


#### (結果の概要)

・23%の人は子供をもつことを望んでいる。

### Q7 今日参加したプログラムは、あなたの期待を100点とすると何点ですか？

(FA) (n=38)



(結果の概要)

80～100点と高得点を付けた人が92%を占める。

### Q8 セクシュアルマイノリティ女性について聞いてみたいこと

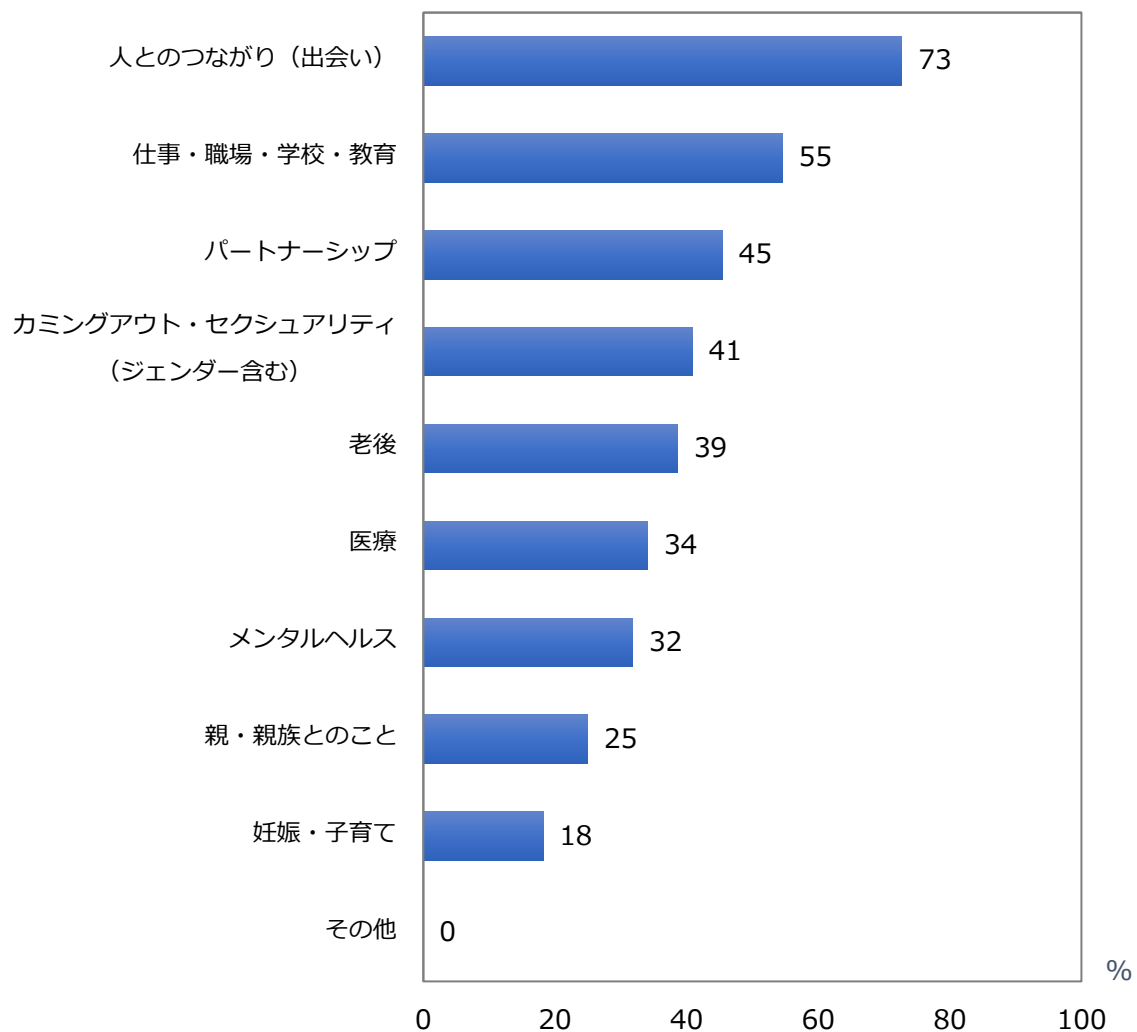
(FA) (n=8)

- どんなライフスタイルですか？
- パートナーシップ制度を利用したいという人の理由と、どのように社会が変われば利用したいのか、理由の要件。
- 結婚や子作りについて、どういう感じか。
- 最近、保険加入で断られ続けて疲れたので、同性パートナーで相手を指名できた人に会ってみたい。
- 自分が女性を好きになったとき、レズビアンだと自覚したとき。
- 人生の中で最も重要なことは？
- 妊娠や子育てについてお考えをお聞きしたいです。
- 恋人・パートナーと一緒に住む時、お互い仕事はどうしたか(距離が遠め)、どういった問題が生じがちで、どう対処したか。

## Q9 セクシュアルマイノリティ女性について、いま関心のあるテーマは？

(MA)

(n=44)



### (結果の概要)

「人とのつながり(出会い)」が73%と最多であり、次いで多いのが、「仕事・職場等」55%、「パートナーシップ」45%、「カミングアウト・セクシュアリティ等」41%である。このほか、「老後」、「医療」、「メンタルヘルス」も30%以上と多く、多様な関心とニーズのあることがうかがえる。

発行：NPO 法人レインボーコミュニティ coLLabo 〒185-0094 世田谷区玉川 1-3-25

MAIL: [info@co-llabo.jp](mailto:info@co-llabo.jp) / Twitter アカウント : @collabonpo / Blog : <http://info-event.co-llabo.jp/>

